

性感染症とは?



性感染症は、セックスなどの性行為によって感染するすべての病気のことです。

男性は自覚症状があるものが多いですが、女性は無症状のものもあり注意が必要です。また、口から感染するものもあり、コンドームだけでは完全に防ぐことはできません。

■こんな症状が出たら要注意!

病名	症状	コンドームで防げるか
性器クラミジア感染症	男性:排尿痛。ペニスの先から膿が出る 女性:無症状のことが多い。おりものの増加	○ 防げる
りんざん 淋菌感染症	男性:排尿痛。ペニスの先から膿が出る 女性:無症状のことが多い。おりものの増加。尿道から膿が出る。頻尿	○ 防げる
性器ヘルペスウイルス感染症	男性・女性:外陰部や膣内に米粒大の水疱や湿疹ができ、かゆみや激しい痛みを伴う。再発を繰り返す	× 防げないことがある
梅毒	男性・女性:性器やまたの付け根に痛みのない硬いしこりができる	× 防げないことがある
せんけい 尖圭コンジローマ	男性・女性:性器やその周辺に痛みを伴わない小さなぶつぶつができる。再発することがある	× 防げないことがある
トリコモナス感染症	男性:ほとんど無症状。排尿時の不快感 女性:黄色のおりもの	○ 防げる
性器カンジダ症	男性:尿道のかゆみ 女性:外陰部のかゆみ。カッターチーズのようなおりもの (カンジダ菌は、膣や口に普段からいるので、抵抗力が落ちた時にも発症することがある)	○ 防げる
HIV感染症、エイズ	男性・女性:HIV感染症は無症状。エイズを発症すると免疫不全症状を起こす	○ 防げる

■性感染症を放っておくと



性感染症に感染したまま放っておくと、不妊症になったり、子宮がんや陰茎がんになったりすることがあります。また、将来生まれる子供に感染する危険性もあります。

■性感染症かもしれないと思ったら

少しでも不安に感じるがあったら、すぐに病院に行って医師に相談しましょう。ほとんどの性感染症は、早期発見して治療することで治ります。

また、もし感染していたら、相手と一緒に治療する必要があります。一方だけが治療しても、相手が感染していたら再度感染してしまいます。



望まない妊娠は、しない!させない!

避妊法の正しい知識を身に付けよう!

方法	セックスしない NO!	コンドーム	ピル
仕組み	セックスしなければ妊娠はしない	精子が女性の膣内に侵入するのを防ぐ	2種類の女性ホルモンによって排卵を止める
長所	100%安全	性感染症を予防することができる	女性が主導権を握ることができる。正しく服用すれば、ほとんど失敗なし
短所	性的欲求に悩まされる	破れたりはずれたり、正しく使わないと失敗も多い	薬は毎日飲まなければならない。性感染症を防ぐことはできない
ポイント	セックスしたくないとき、避妊の準備がないときにはNO!と言おう	男性用コンドームは、正しく使わなければ意味がない	医師に相談して、処方してもらおう

相談してください 本人はもちろん、ご家族からの相談も受けています

電話相談

不安なことがあったら、まずは電話を!

「若者の性の電話相談」

専用ダイヤル(区保健センター内)

中央 ☎552-8120 豊平 ☎816-8120
北 ☎756-8120 清田 ☎885-8120
東 ☎723-8120 南 ☎583-8120
白石 ☎862-8120 西 ☎613-8120
厚別 ☎894-8120 手稲 ☎683-0812

土・日曜、祝・休日、年末年始を除く
午前8時45分～午後5時15分

エイズ検査

保健センターでは、無料・匿名によるHIV抗体検査を行っています。また、夜間・休日の検査も実施しています。詳しくは

市コールセンター ☎222-4894へ

健康相談

保健センターでは、面談による個別の相談にも応じています。気軽にご相談ください。左記「若者の性の電話相談」専用ダイヤルで随時予約を。実施日時もお問い合わせください。

その他の相談・情報

性感染症や避妊の知識を詳しく紹介
健康さっぽろ21ホームページ
携帯: <http://www.kenko-sapporo21.jp/mobile/>
パソコン: www.kenko-sapporo21.jp

市内の医療機関の外来時間などが分かります
医師会医療機関情報マップ
携帯: <http://www.spmed.jp/medi-map/i/>

メール相談もできます
性の健康医学財団
携帯: <http://www.jfshm.org/mobile/>